

事業番号	09 01 04	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業共済団体等指導費		部局	農政部	課・室	農業政策課
			実施期間	S44～	E-mail	nosei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> 農業協同組合等を取り巻く社会経済環境は、担い手の高齢化や人口減少等による事業規模の縮小及びマイナス金利政策の継続による信用事業の収益の悪化など、依然として厳しい状況にある中で、農業協同組合法等の規定に基づき県が実施する農協等の検査について、従来の合法性等の検証に加え、経営上のリスクに着目するなど検査機能の充実が求められている。
	<b>【目指す姿】</b> 公認会計士を活用することにより、農業協同組合の業務及び会計の状況についての的確に把握し、ガバナンスの不備やリスク管理上の課題の本質的な改善につながる深度ある検査を実施し、農協等の健全な運営の一層の確保を図る。
	<b>【実施内容】</b> 公認会計士を活用した検査の実施

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況		前年度繰越			
1	—	—	—	—	—	—		予算額	現計予算	1,740	1,837
2									合計(A)	1,740	1,837
3									うち一般財源	1,740	1,837
4								決算額(B)	1,740	1,753	
								職員数(人)	8.0	8.0	

成果指標設定理由	成果目標として定量的な数値設定はふさわしくないため未設定
達成状況の分析	—

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓農業協同組合及び農業共済組合について法令に基づき計画どおりの検査・指導を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合農業協同組合数8（うち公認会計士活用組合数8）・専門農業協同組合数1・農業共済組合数1</li> </ul> </li> <li>【主な検査事項】 (総括的事項) ①経営管理態勢の整備 ②法令等の遵守状況 ③不正不当事件の防止 ④部門内に共通するリスク管理 ⑤個人情報管理の適正化 ⑥利用者保護等管理態勢の整備 ⑦財務状況の健全性や事務の正確性の確保 ⑧監事及び内部監査の機能強化 ⑨子会社等管理の適正化 (信用事業) ①貯金・集金業務の適正化 ②貸出金業務の適正化 ③貸出金自己査定及び与信管理の適正化 (共済事業) ①契約、掛金収納、共済金支払等事務処理の適正化 ②内部けん制態勢 (経済事業) ①系統組織としての機能発揮 ②内部統制の機能発揮 ③仕入・供給処理及び現金取扱いの適正化 ④経済未収金の発生防止策を含めた債権管理・回収の適正化 ⑤購買品等の在庫管理・評価の適正化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓公認会計士を活用した検証による改善指導を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表や特に高度で専門的な項目について公認会計士を活用した検証を行い財務管理態勢の改善を指導</li> </ul> </li> </ul>

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	令和元年度決算から導入された会計監査人による監査を踏まえた検査を実施する必要がある。	深度のある検査を実施するため、引き続き専門的知見を有する公認会計士を活用していく。